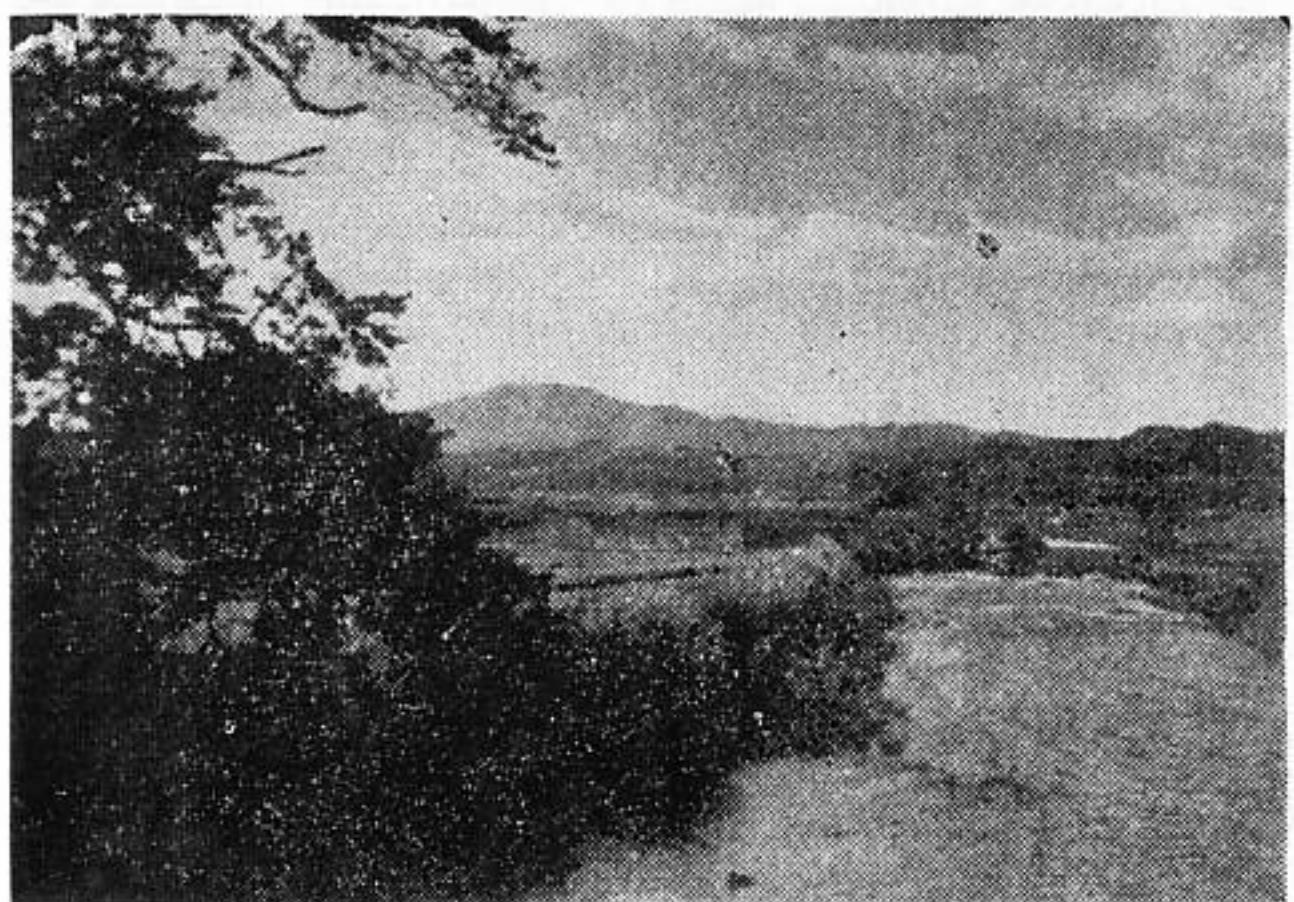


東由利村報

No. 49 35・11・15
発行所 秋田県東由利村役場
印 刷 所 株式会社 本間印刷所



鳥海山に初雪

10月25日夜から26日朝にかけて鳥海山に初雪がふつた。

今秋はわりあい晴天に恵まれたため昨年より11日も遅いという。しかし今月中旬には里にも初雪がみられるだろうと気象台では予報しており、とにかく冬はそこまできた。

教育委員長に

小松忠一郎氏

新しく委員が選出されてから、はじめての教育委員会は10月30日役場で開き、委員長らの五選を行つて新委員長に小松忠一郎氏、同職務代行者に阿部寅静氏をそれぞれ選出した。

びに処分

玉米財産区有の館合字檜倉地内

赤松立木八二本を村に寄附し、村では山崎、久保、五海保三部落で新設する牧道の財源に充てるためこれを無償で譲渡する。

会計決算(4面詳載)

玉米財産区有財産の寄附なら

2面	紙面案内 道路施策中間報告 秋季防火週間終る 共同募金の結果 農林省でジャージー 買上げ・行政苦情相 談・4次自衛官募集 34年度決算の状況
3面	
4面	

第9回村議会臨時会

第九回村議会臨時会は10月28日役場に招集された。提出案件は村職員などの給与条例の一部改正、本年度追加更正予算、三十四年度決算など十二件で会期四日間にわたつて審議され、全部原案可決された。主な提出案件は次のとおり。

新しい教育委員決る

小松・阿部・佐々木の三氏

十月十七日招集された第八回村議会で新しい教育委員に小松忠一郎(63才・老方)阿部寅静(46才・蔵)佐々木君三(45才・大卒)の三氏が同意をえて任命された。

小松、阿部の両氏は教育委員中九月三十日で任期満了した畠山伝二郎、五十嵐泰宗氏の後任にまた佐々木氏は小野繁記氏が辞職したので、その後任に任命されたものである。

34年度決算を認定

村職員などの給与改善される

▼公有林野等官行造林契約 秋田営林局との間で村有の杉森宇沼山地内五二ヘクタールの官行造林契約を結ぶ。契約期間は向後五十三年間で植栽樹種は大部分が杉、収益分取は国、村とも五分づつである。

▼一般職員給与条例の一部改正 一般職員の給与を国家公務員にして給料表のとこぼこを是正し、最高で一千一百円の引上げと六月の期末手当を○・一ヵ月分増額する(この財源は国の財政計画に含まれ、地方交付税ですでに措置されている)

▼特別職常勤職員給与等条例の一部改正 村職員給与(五一九)老方小学校前道路敷買収費(五八)蔵小放送施設(六三)沼分校水道工事(三六)法内小校庭整備(七八)住吉小グランド整備(九八)玉米中理科教育設備(一八〇)就職促進協議会補助(三〇)一〇)牧道整備補助(九八)坪七〇)黒沢治山工事負担金(一二〇)トラクター購入補助(一二六)ブラジル移住者仕度金(一二〇)農用トラクター購入補助(一二一〇)倉林道開設工事(一九八)坪七〇)黒沢治山工事負担金(一二〇)公有林野利用改善計画費(九二)衆院選挙費(二五三)前年度施行土場沢橋工事(二八〇)定時制高校負担金(一〇〇)開拓道路整備補助(三六九)三十四年度一般会計及び特別

去る十月二十四日の国会解散によつて第二十九回総選挙がこの二十日に行われる。現在の外交、経済状勢は文字どおり内外多端、この現状につて國の政治、つまりわれわれの「今後の生活の意志決定とその実行」をする大事な最大級の選挙ともいえる。この総選挙と同時に最高裁判官の国民審査も行われる。

いうまでもなく最高裁は国の最終裁判所で一切の法令の解釈はこの裁判所の解釈である。したがつてこの最高裁を構成すたがつてこの最高裁を構成す日本の終審判決である。しめしまつては絶対にいけない。選挙は肉親であつても他人といえる。真に選挙人の自重を望むとともに、二十日は一人ともまたわれわれの大事な権利の行使である。総選挙にあたつて、われわれの棄権もなく全員そろつて投票しよう。

以上は一般職員の給与改善にとらない均衡上村長など三役が一律一千円、教育長が一千三百円議会議員報酬が五百円とそれぞれ引上げられる。

予算

追加額三、四二四千円総額五六七八千円。このうち予算追加になつた主な項目は給与等の条例一部改正にともない議会議員報酬(一三三・三千円)以下単位同

▼議会議員の報酬等条例の一部改正

以上は一般職員の給与改善にとらない均衡上村長など三役が一律一千円、教育長が一千三百円議会議員報酬が五百円とそれぞれ引上げられる。

村道工事八〇%の進捗

大内村連絡道路ようやく日のめ。

道路施策中間報告(下)



阿部 長村

立冬も過ぎこれから冬はカケ足でやつてまいります。

約一年の三分の一は雪の中の生活で、この間は土木工事はもちろんあらゆる建設事業が

未改修区間の測量を陳情

山崎—十文字県道

山崎から松柴を経由して十文字に至る県道は、松沢から羽後町唐松までの間わずか二キロが未改修になつていて車馬の通行ものぞめず、したがつて沿線地域の交流もと絶の状態になつており、何とかこれを打開しようと考へております。

連絡・林道・牧道の多目的道路近く実現

大琴—大内村連絡道路

私が就任間もなく道路施策第一号としてとつ組んできたのが大琴と滝温泉を経由して大内村を結ぶ連絡道路です。またま放牧場の適地として長根谷地が浮上り、牧道開設などの前後関係の伊藤大内村長と話しあい両者協力の上で早期実現を期してまいつたのですが、たまたま放牧場の適地として長根谷地が浮上り、牧道開設などの前後関

ストップされます。したがつていろいろな工事もこのハンデキヤップをうずめるべく大馬力がかけられておりますし私の報告も大急ぎです。めることにいたします。

前号から引続き「大」の字の道路づくりの中で残つた山崎十文字間県道と大内村の連絡道路、それに村道関係の工事進捗状況を説明してまいります。

用林道工事も今月完成する予定になります。また全線を通じて砂

利補修の必要がありますが、これも大内村長が協力を約しており、明年には連絡、林道、牧道の多目的道路としてみんなさんの前にお目見得するはずです。

予定八〇個所のうち六二個所完了

村道関係の工事進捗状況

今年の土木予算は約八〇〇万円でこのうち道路橋梁維持修繕費が五八〇万円、林道公共災害復旧費が四五万円、林道関係が一八〇万円というだいたいの仕分けになつております。

現在の進捗状況は道路補修予定個所三八のうち完了二七、発注済五、未着手六、橋梁補修は予定二二橋のうち完了一八、発注済一、未着手三、日照坂地内の道路公共災害復旧工事二個所は

全部完了、林道補修は予定一三個所のうち完了一一、同じく橋梁補修は五橋のうち四橋が完成しておりますので、總体で八〇パーセントの進捗率をみております。

本村は村道八四線で延長一七六キロ、橋梁一〇四、林道は六線で延長一七キロ、橋梁一四という大変な数字にのぼる道路や橋梁をかゝえておりますので、新設工事はもちろん、これらを完全に維持していくためには村予算の全額を投入してもまだ不足するような状態です。

一般にわが村は十年の立おくれがあるといわれておりますがこれはそのまま道路整備のおくれを意味していること、思ふ、今年は重点的に予算を増額し今後も継続してこれを解決していくたいものと念願しております。

別掲の図のように村道根小屋線から分岐した長根谷地牧道と營林署の既設搬出林道との間をさらに併用林道として拡幅整備することの話しあいがつきましたので、これで大内村側の連絡道路と一本に結びつけることが可能になつたわけです。

牧道開設も一部補修を残して完



秋の防火週間終る

「火の用心」火災には期間がない

えて万全が期された。

各家庭とも暖房のため

ストーブやこたつなど

がとりつけられ、また

電熱器具が普及して多く使用されるので火災の原因が多くなるし、

火災発生とともに冬阴いのため火廻りが早くなり、さらに雪のため

水利の便も悪くなるという条件

の下におかれます。

消防の便も悪くなるとい

う条件

には発生期間がない。みんなが

気持をひきしめて「火の用心」が大切である。

防火を呼びかけに出発しようとする宣伝班

まごころの14万6千円

赤い羽根募金の結果

募金はみなさんのま

ごころにより現在一

四六、七七三円集り

ました。

内訳は毎戸募金一四

一、八六九円、下郷

中学校生徒有志の募

金二、四〇四円、玉

米未亡人会の廃品回

集による協力募金二、五〇〇円

となつております。

本村の募金期待額は一五一、三〇二円でまだ若干不足しておりますが、できるだけこれを達成したいと思います。

今後ともみんなの協力をお願

いいたします。

【厚生係】



34年度東由利村歳入歳出決算

【歳入】

① 村税	20,915,336円
② 地方交付税	21,413,000
③ 公営企業及び財産収入	12,231,809
④ 分担金及び負担金	1,944,436
⑤ 使用料及び手数料	463,050
⑥ 国庫支出金	1,325,727
⑦ 県支出金	3,163,048
⑧ 寄附金	999,379
⑨ 越年取入	19,126
⑩ 総歳入合計	64,761,061

【歳出】

① 費費	1,516,744円
② 費費	12,378,814
③ 費費	3,948,861
④ 費費	5,875,524
⑤ 社会及び労働施設費	17,215,420
⑥ 保健衛生費	1,950,474
⑦ 産業経済費	766,537
⑧ 財産費	9,727,108
⑨ 調査費	2,639,043
⑩ 運賃	143,528
⑪ 費用	553,764
⑫ 債券支拂	2,448,115
⑬ 予歳出	5,596,694
⑭ 合計	64,760,626

国民健康保険事業特別会計

歳入 9,202,056円
歳出 7,507,778

簡易水道事業特別会計

歳入 880,545
歳出 717,082

災害復旧耕地事業特別会計

歳入 114,004
歳出 0

玉米財産区特別会計

歳入 599,508
歳出 252,909

下郷財産区特別会計

歳入 104,675
歳出 104,675



暮色

刃物のような冷たい空気をはねかえして
いたつカヤの穂先……
初冬のたそがれのシルエット

秋田行政監察局の行政苦情相談所
所が今月二十四、二十五の両日
本村で開かれる。
これは主として国が県や市町村
を通じて行う行政上の問題で、

生活保護や母子福祉、農林漁業資金、農地開拓、恩給遺族扶助料などのことや、郵便、登記、たばこ専売など官庁や公社公団などが行つてほしいことで何と普段思つてゐる苦情を相談する事で何と普段思つてゐる仕事のことで何と

郵便局だより全国で約一千六百万通、このうち住所にたずねあたらぬものなどの迷子郵便は年未をひかえてこの迷子郵便は約十八万通ある。これから郵便局を完全に早く届けるためには「あて名」を正確に書くことが大切で誤字やあて字のない

防衛庁では第四次自衛官を次のとおりである。
△24日午後1時～5時、役場会議室
△25日午前10時～午後5時玉米会館
迷子郵便毎日18万通
あて名完全記載運動展開中

月10日

△試験期間 36年1月17日～2月10日

△受付期間 11月10日～36年1月10日

△応募資格 昭和11年3月2日から18年3月1日まで生れたもので中学校卒業程度の学力を有するもの

たばこは
村内て

24・25の両日
行政苦情相談所開設

いわゆる民事や刑事問題を除いて役所相手に手続きや世話をしないで困つてることなどの苦情のもつてき所がこの相談所で村民の利用を大いに望んでいる。本村の相談所開設日程は次のとおりである。

△24日午後1時～5時、役場会議室
△25日午前10時～午後5時玉米会館
迷子郵便毎日18万通
あて名完全記載運動展開中

月10日

△試験期間 36年1月17日～2月10日

△受付期間 11月10日～36年1月10日

△応募資格 昭和11年3月2日から18年3月1日まで生れたもので中学校卒業程度の学力を有するもの

第4次自衛官募集

森林組合では今年の秋に植林を実施し完了された方の至急届け出を望んでいる。



【4面より続く】

【林道整備事業】 笹倉林道災害復旧事業は過年度工事として巾員3メートル延長192メートル、現年度分として巾員4メートル延長18メートルを480千円(国県補助311千円)で復旧、坪倉林道の開設事業は県単事業として98千円の補助をうけ総工費299千円で巾員3メートル延長192メートルを施行し林道整備がはからわれた。

【公有林整備事業】 新植補植併せて15.3ヘクタール、その他部落分収林造成21.9ヘクタールに対する苗木補助など1,588千円でもつて造成及び保育が行われた。

農林省では村内産ジャージー牛二十頭を買上げ、これを村内の飼育希望農家に貸付けした。

買上げは十一月一日台山馬検場で行われ、売渡しを希望して引けられた仔牛の発育標準などを審査評価して前もつて選定され、それでいた飼育農家にそれぞれ引渡された。

この国有乳牛あるいは和牛の貸付けは寒冷地帯の農業振興対策として農林省ですすめてきたもので、本村の場合いま行われている酪農事業と結びつけてさらに新しく乳牛を入れた農家群を増やし、目的とする農業振興をはかつていくため村内産ジャージー牛の買上げと貸付けが行われたもの。なおこの貸付牛は五ヵ年のうち仔牛で返換すればよいことになっている。

【写真は買上げ牛の審査風景】

秋田行政監察局の行政苦情相談所が今月二十四、二十五の両日本村で開かれる。

これは主として国が県や市町村を通じて行う行政上の問題で、

談すると無料でこれらの相談事項の解決を促進してくれるものである。

いわゆる民事や刑事問題を除いて役所相手に手続きや世話をしないで困つてることなどの苦情のもつてき所がこの相談所で村民の利用を大いに望んでいる。本村の相談所開設日程は次のとおりである。

また配達の道しるべとなる表札は家族や同居者全部の名前も記入して全戸に掲出する。

局区内と配達局名も入れ、同居者あてには必ず「○○方」と肩書きすること。

要領で募集している。

募集人員 陸士一万名、海士一千七百名、空士二千六百名

34年度決算の状況

実質収支は赤字

ポツカリ穴をあけた村税の滞納

残額わずか435円

決算の概況

昭和34年度一般会計の決算総額は歳入において64.761.061円、歳出64.760.626円で差引残額わずかに435円となつてある。

しかしこのうちの一部経費は支払い繰延べの措置をして収支の均衡がとられているので実質収支においては歳入が不足していることになる。

主要施設の整備状況

庁舎附属建物建築工事

役場庁舎建築は前年度264坪の本館工事に引き続き、本年度は附属建物として書庫40坪、小屋22.8坪=いずれも二階建=ほかに附属廊下8.8坪を建築し庁舎建設設計画を完了した。総工事費は1.435千円である。

土木施設整備

杉森橋の公共災害復旧工事は425千円で完成、日照坂地区の道路復旧工事は公共災害の関係から着工認定が翌年度になつたため35年度当初に寺田地区の工事と併せて施行する。

一般道路橋梁改修などの工事は石高線・片越山本線の改修、十二の前線石垣護岸工事、山谷橋

酪農振興、公有林整備、道路整備、教育施設の充実など遂年行政内容が充実拡張してくるのにもなつて健全な収入の確保を期さなければならぬのであるが、特に自主財源の根幹をなす村税の徴収は82.6%で前年度よりわずか1.8%の伸びを示している程度にすぎず、この面からも十分な予算執行ができないでしまつた。

中入沢橋・寺田橋など単独災害復旧工事とも併せて3.984千円で施工、ほかに砂利の投入、暗渠の施設など維持補修は1.265千円で施工され土木施設の整備がはからわれた。

消防施設整備

防火用水池設置は3分の1の県補助をうけ総工費360千円で松沢・蘿沢・黒淵の三地区に20立方メートルの用水池をそれぞれ1基設け、その他第7分団(大琴)のポンプ購入420千円、田代部落サイレン設置138千円、私立消防団ポンプ購入補助278千円、鉄骨鐘塔設置(松沢・田代)など施設の強化充実がはかられた。

決算の性質別内訳



歳入の内

均衡のとれている財政構造

歳入の内容は収入されるときの使いみちが特定されるかされないかによって特定財源及び一般財源に分けられるが、34年度歳入は総額の65.4%が一般財源であり残り34.6%は特定財源いわゆる紐つきの歳入となつてある。またグラフで示しておいたように税収入や財産収入、使用料など村自体が自主的に調達できる自主財源は全体の58.5%で他の41.5%は地方交付税や国、県支出金など財源を国県にもとめる依存財源となつてはなつてない。

ている。この一般財源や自主財源の率が高いほどその村の財政状態が良好なことを示すことになるが、33年度の秋田県町村平均と比較すると一般財源で0.9%、自主財源で0.1%高くなつておらず、ますます平均並の状態にあるといえるしかし自主財源の大部分を占める税収入は収納率82.6%で県平均より4%ほど下回つており、この面から健実で十分な財政といえる状態にまでなつてない。

歳出の内容は村を經營してゆくための消費的経費と、住民に積極的なサービスとなる投資的経費、それに道路や建物、消防ポンプなどの維持補修費と村が国などから借入れた資金の長期返済金の公債費などがある。

これらの比率をグラフで示しておいたが歳出総額のうち消費的経費の占める比率は低いほど、また反対に投資的経費の比率が高いほどその村の財政が効率的に運営されており積極財政ともいわれている。

33年度の秋田県町村平均と比較してみると次のようではより理想な構造がつくられている

(区分)	(村)	(県平均)
消費的経費	38.8	43.5
投資的経費	40.7	32.6
維持補修費	5.3	4.2
公債費	3.8	6.7
その他	11.4	13.0

教育施設整備

法内小学校教員住宅の木造平屋建15坪1棟を435千円(うち国庫補助150千円)で建築して教職員住宅対策の一助とするとともに、学級増にともなう祝沢分校体操場23坪を521千円で建築老方小学校便所腐朽のため24坪を544千円で新築、玉米中学校

特別教室二階建201坪をそれぞれ建設して教育効果の向上が期待された。

農林業施設整備

【酪農振興事業】草地改良事業は湯ノ沢地区ほか8地区29.7ヘクタールを施行するほか、放牧場を長根谷地・朴ノ木沢地区に施設して40坪の監視舎及び追込

舎1棟を建築、コンクリート工による水呑場、木柵、牧林、移動式電気牧柵一式を設備して酪農事業振興の基盤を強化した。その他サイロ設置、集乳所設置牧道開設などにそれぞれ補助金を交付して諸施設の充実がはかられた。なお草地改良総事業費は2.980千円、放牧地設置費は1.567千円である。(3面へ)

図書だより

△公民館図書はみなさんによく利用され、図書棚はいつもガラ

△ところが図書を何ヵ月も一人じめにしておられる方があります。読みおえたたらすぐ別の本と

△ぜひ備付けしてほしいと思う心がけて下さい。

△新しい購入図書目録を次の広報に掲載します。できるだけご希望にそなうに